

図説無歯顎補綴学

—理論から装着後の問題解決まで—

著 山縣健佑 黒岩昭弘

B5変型判 カラー 316頁 定価 10,290円(本体9,800円+税)

ISBN978-4-7624-0640-9

歯学生、臨床研修医のために全部床義歯の基礎から応用までを一貫したコンセプトでまとめたバイブル書。患者の満足の得られる全部床義歯を能率よく、確実につくるための必要事項をていねいに解説した力作。全部床義歯学の重要事項が確実に身に付くおすすめの書。



Part I 無歯顎補綴学概説

第1章 序説

第2章 無歯顎者の病態と回復の評価

第3章 義歯の構成要素と機能的要件

Part II 無歯顎補綴の診療手順

第4章 無歯顎者の診査と義歯製作過程

第5章 補綴前処置

第6章 印象採得

第7章 作業模型

第8章 咬合床

第9章 咬合採得

第10章 顔弓および咬合器

第11章 全部床義歯の咬合

第12章 人工歯排列と選択

第13章 歯肉形成

第14章 蠟義歯試適

第15章 義歯の重合

第16章 人工歯の咬合調整

第17章 研磨

第18章 義歯の装着と調整

Part III 義歯装着後の変化とその対応

第19章 義歯装着後の変化とその対応

第20章 リライン、リベース

Part IV 特殊な全部床義歯

第21章 即時義歯、移行義

歯、片顎義歯

無歯顎へのスムーズな移行

第22章 金属床義歯

第23章 無歯顎者のためのインプラント義歯

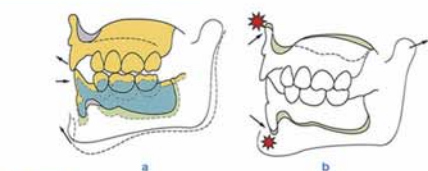


図 19-32 ◆ a : 嚥下の吸収が起こると、義歯粘膜面の不適合だけでなく、上下の歯茎の位置関係が狂ってくる。b : 床下組織の局所に咬合圧が集中し、その部分の歯槽骨の吸収が促進され、粘膜面の不適合 → 咬合関係の狂い → 床下組織の損傷、という悪循環が続く



しまう(図 19-34)。

(2) 疼痛
嚥下の吸収による粘膜面の不適合によって、咬合圧が偏在し、床縁が前庭部粘膜に食い込み、オトガイ孔など神経血管の圧迫により疼痛が起こる。とくに下顎では、嚥下の吸収により、歯槽頂部で義歯粘膜面との空隙が生じると、義歯が下方に移動するので、本来適正であった床縁が前庭部粘膜に食い込む(図 19-35)。

また、口蓋隆起、下顎隆起や顎舌骨筋線、オトガイ線などの脂肪着部は吸収が少ないので、嚥下の吸収によって相対的に突出してくる。そのため、当初

は適切であったリベースも不足し、疼痛、潰瘍形成が起こる(図 19-36)。

(処置)

- ① 応急的には床縁の削除、リベース量の増加。
- ② 根本的には、部分的なリラインで義歯粘膜面の隙間を埋め、義歯の位置を正す。
- ③ 支持に有効な部位に床を拡大する。

症例] 図 19-37

上下顎無歯顎者、嚥下困難と嚥下の疼痛が主訴。上下顎全部床義歯を使用しているが、左側舌根部に潰瘍が認められる。上顎義歯の口蓋床縁はアーラインに一致し、適切なガストラムを設けている。下顎義歯のシリコンベースによる適合試験では、臼歯部の嚥下部のベースが厚く、とくに、舌側床縁が突出している(図 19-37)。これは、上下顎全部床義歯を長年使用しているうちに嚥下の吸収によって床が「沈下」して床縁が食い込んだためである。本症例では、床面縁が狭く、レットロモラーパッド、バックカルシェルフを覆っていないため、「沈下」がより大きい。

上下顎全部床義歯を数年間使用しているうちに嚥下の吸収によって床が「沈下」し、当初は適切な位置であった床縁も食い込んでくる。その予防には、レットロモラーパッド、バックカルシェルフなど支持に有効な部位に床を拡大して咬合圧を分散させる必要がある。

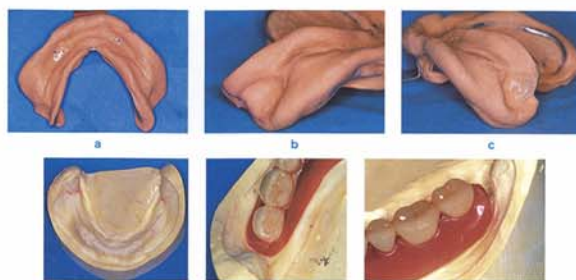


図 19-34 ◆ 嚥下の部分が著しく吸収している症例。a, b, c : アルジネート印象材による歯形印象でも十分な義歯負荷域が得られるが、レットロモラーパッドの前方がアンダーカット状にえぐれている。また、本来の臼歯部嚥下部分は、逆に突出している。d : 研究用模型でレットロモラーパッド前後を参照して、臼歯部嚥下部分は著しく低下し、溝状に陥凹している。e ~ f : 使用中の義歯を研究用模型上に乗せてみると、床の拡張が不足で、溝状の陥凹内に収まっている。また、レットロモラーパッドの下方に嚥下の溝が侵入していることがわかる。これは、床で加圧されて床下組織が吸収されたことを示す



図 19-35 ◆ 嚥下の吸収により、歯槽頂部で義歯粘膜面との空隙が生じると、義歯が下方に移動するので、本来、適正であった床縁が前庭部粘膜に食い込む



図 19-36 ◆ オトガイ唇部のチェック。a : 前庭部の吸収が大きい症例では、唇小帯の付着部付近のオトガイ唇が嚥下よりも高く突出する。また、舌を挙上すると口唇底は深く、硬くなる。b : 舌側床縁正中部に突出部があるときは、十分にリベースする